

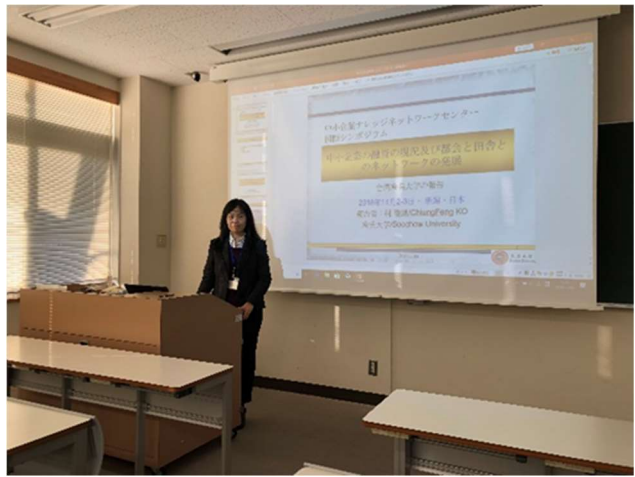
第2回国際シンポジウムが開催されました

2018年11月3日に新潟大学にて国際シンポジウムを開催致しました。2017年2月に第1回目となる国際シンポジウムに続き、今回は第2回目の開催となりました。去年のテーマは『産業集積と中小企業の国際展開—グローバル競争と共生を目指して—』でしたが、今回のテーマは『地域主力産業を担う中小企業のグローバル展開と中小企業国際ネットワークの意義』であり、各国（地域）において、実務家と大学教員の立場から、積極的にグローバル展開を行っている企業の事例と大学を中心とした産官学金士の東アジア地域の連携によるネットワークの活用について、それぞれ発表が行われました。

シンポジウムでは、中小企業ナレッジネットワークセンター長と環東アジア研究センター長による挨拶に続き、各地域によるセッションがスタートされる形となりました。



新潟・韓国（大田）・台湾（台北・台中）・中国（哈爾濱）の各地域の関係者より、実務と大学の2セッションによる報告が行われ、実務セッションでは、株式会社第四銀行コンサルティング推進部副部長、韓国 anthropocar.co.,Ltd.代表取締役、台湾 Goldfish Housing Company CEO による報告がなされました。大学セッションでは、台湾東呉大学副教授、韓国 Hanbat 大学教授に加え、中国黒龍江省社会科学院東北アジア研究所所長による産学連携という地方大学（機関）の果たすべき役割と今後の展開の可能性等について、それぞれ発表がなされました。



最後のパネルディスカッションでは、報告者 7 名の発表について聴講者による質疑応答または有意義な議論が展開されました。新潟大学経済学部長による閉会の挨拶とともに、新潟産コシヒカリを来日者全員に手土産として渡し、第 2 回目の国際シンポジウムも無事に幕を閉じることができました。



第 3 回目となる国際シンポジウムは来年に台湾の彰化師範大学にて開催の予定です。各地域の中
小企業の国際展開の機運を高め、環東アジア地域ネットワークの連携をさらに深めるためにも多く
の方々のご参加に期待しています。